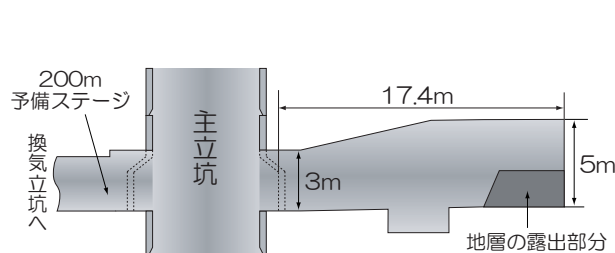


スポット
ニュース

主立坑側のボーリング横坑の掘削

瑞浪超深地層研究所の主立坑では、ボーリング調査を行うための横坑（「ボーリング横坑」と言います）を掘削しています。

このボーリング横坑は、下のイメージ図のように、主立坑と接する部分が高さ3㍍で、そこから徐々に奥に向かって高くなり、坑道の一番奥で高さ5㍍となります。全長は17.4㍍で、坑道の一番奥から手前の5㍍に地層の露出部分を設け、実際の地層を見て触れることができますようにします。



【主立坑側のボーリング横坑イメージ図】



ボーリング横坑の様子

来月の主な作業予定（6月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①立坑の掘削工事（5/22現在、主立坑200.2㍍ 換気立坑196.2㍍）
- ②深さ200㍍の予備ステージ及びボーリング横坑（主立坑側）の掘削作業
- ③排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ④既存ボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、O5ME06号孔）での水圧などの長期観測
- ⑤深さ100㍍の水平の坑道における地下水の水圧・水質の観測
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑦研究坑道の排水に伴う環境管理測定
- ⑧表層水理観測（気象観測、地表の傾斜量の観測など）
- ⑨東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜等の長期観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

環境保全協定書に基づく測定結果は地層研ニュース裏面に掲載しています。

※測定は毎月1回の予定です。また、調査結果は毎月ホームページでも紹介しております。
ホームページアドレス：http://www.jaea.go.jp/O4/tono/anzen/miu_sokutei/sokutei.html



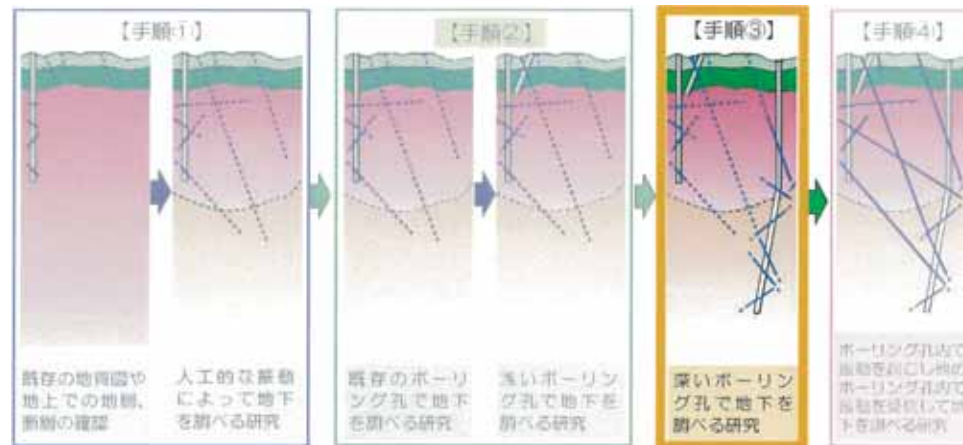
地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【E-MAIL】tono-ck@jaea.go.jp
《東濃地科学センターホームページ：<http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>》

東濃地科学センター 地域交流課（栢、木内、福島）

瑞浪超深地層研究所における研究成果（第1段階）

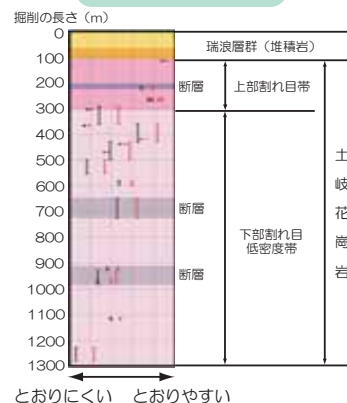
第1段階の研究は、大きく分けて4つの手順で行いました。



■ 堆積岩 ■ 花崗岩 — 断層や割れ目帯（— 確定……予想）

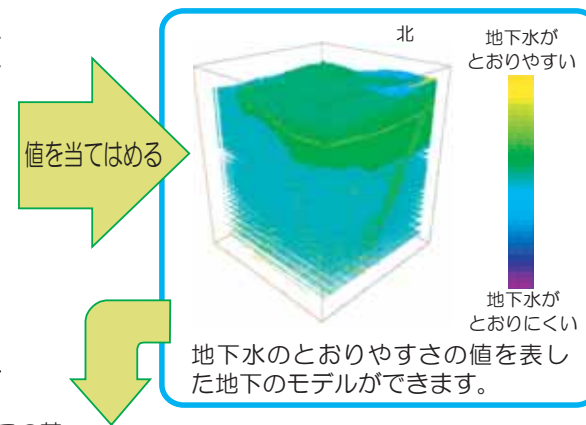
今月号の研究成果は手順③の「深いボーリング孔で地下を調べる研究」の地下水の研究についてご紹介します。この研究では、地下深くの地下水のとおりやすさなど、「地下水がどのように流れているか」を調べました。

深いボーリング孔で地下を調べる研究



とおりにくい とおりやすい

【手順③における地下のモデル】



地下水のとおりやすさの値を表した地下のモデルができます。

深いボーリング孔で調べた結果、ここの花崗岩は、深くなるほど水が流れにくくなる傾向が見られました。また、花崗岩の上部の割れ目帯の付近や断層の付近（670㍍）は、地下水がとおりやすく、それ以外の割れ目の少ない部分や深さ970㍍付近の断層は、地下水がとおりにくいことが分かりました。

このように地下水のとおりやすさなどの値を当てはめた地下のモデルができました。これにより、地下深い部分の水みちの分布や水理特性、水質などを把握することができました。さらに精度を高めるため手順④の研究を行っています。

